技術賞候補者推薦方法について

ケイ素化学協会

1. 賞の対象、推薦資格、推薦件数

本会表彰規定により次のように定められている。

* 1. 賞の対象：本会会員であって、ケイ素化学および関連工業において技術上特に顕著な業績のあった者に授与する。個人を対象とするが同一技術の業績について５名以下の連名で受賞することができる。また、同一人が異なった技術の業績について重ねて受賞することができる。
  2. 推薦資格者：会長、副会長、常任理事、理事、監事、顧問、終身会員および正会員とする。
  3. 推薦可能件数：推薦資格者ごとに１件以内とする。

1. 提出書類（返却しない）
   1. 候補者推薦書（所定の用紙を使用）
   2. 候補者調書　(下記の内容を含む。所定の用紙を使用)

1.　推薦の理由(1200字以内)

1. 技術開発の背景、動機、目的など(1200字以内)
2. 技術内容の概要(3600字以内)
3. 技術開発の経過(2400字以内)
4. 技術の特色、独創的な点、将来への影響など(2400字以内)
5. 生産実績(1200字以内)
6. 本技術と関連があると思われる他社技術の概要、ならびに本技術との相違点(2400字以内)
7. 参考資料リスト(特許、学術論文、総説、解説、カタログ、製品見本など)(2400字以内)

（３）参考資料：候補者調書の8．参考資料リストの中から１０点以内の別刷またはコピー

上記（１）～（３）の1部を期限までに事務局に郵送するとともに、ｐｄｆファイルとしてメールで送信すること（メール送信の際にパスワードを付しても構わない）。ただし、（１）と（２）は1つのファイルとし、（３）の参考資料は別々のファイルでも構わない。推薦者の押印は不要だが、メール送信時にＣＣで推薦者にも送ること。

３．書類執筆上の注意

1. フォントサイズを１１ｐｔ以上とし、ワープロ印書または黒インクを用いて清書すること。
2. 候補者推薦書、候補者調書（項目1-8）の順に、通し頁を用紙左上のNo.欄に記入すること。
3. 候補者所属の機関長の推薦承諾は各候補の所属機関ごとに得ること。
4. 候補者が連名の場合は、候補者の業績分担欄に候補技術に対する本人の分担（例：研究指導、開発指導、研究担当、開発担当、研究協力、開発協力など）を記入すること。
5. 推薦書および候補者調書の各項目は、所定の枚数以内に記載すること。

４．推薦書提出先および提出締め切り日

提出先：〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1  
九州大学グリーンテクノロジー研究教育センター（永島研究室内）  
Tel：092-583-8892, Fax：092-583-7839, E-mail：sscj.jimu@gmail.com

締切日：2022年8月1日（月）必着

５．選考方法

ケイ素化学協会表彰選考委員会運営規則に則り、受賞者を決定する。

６．表彰式

本年度のケイ素化学協会理事会の議決を経て2022年11月開催の総会において表彰する。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | | | | | | | | 整理  番号 |
| 技 術 賞 候 補 者 推 薦 書  西暦 年 月 日  ケイ素化学協会会長殿  下記の者を技術賞候補者として推薦します。 | | | | | | | |
| 候  補  者  ︵連名の場合は５名以内︶ | （ふ り が な）  候 補 者 氏 名 | |  | 業 績分 担 | |  | |
| 最 終 学 歴 | |  | 学 位 | | 博士 | |
| 勤 務 先 と 職 名 | |  | | | | |
| 同 所 在 地 | | 〒  ℡ | | | | |
| （ふ り が な）  候 補 者 氏 名 | |  | | 業 績分 担 |  | |
| 最 終 学 歴 | |  | | 学 位 | 博士 | |
| 勤 務 先 と 職 名 | |  | | | | |
| 同 所 在 地 | | 〒  ℡ | | | | |
| （ふ り が な）  候 補 者 氏 名 | |  | | 業 績分 担 |  | |
| 最 終 学 歴 | |  | | 学 位 | 博士 | |
| 勤 務 先 と 職 名 | |  | | | | |
| 同 所 在 地 | | 〒  ℡ | | | | |
| （ふ り が な）  候 補 者 氏 名 | |  | | 業 績分 担 |  | |
| 最 終 学 歴 | |  | | 学 位 | 博士 | |
| 勤 務 先 と 職 名 | |  | | | | |
| 同 所 在 地 | | 〒  ℡ | | | | |
| （ふ り が な）  候 補 者 氏 名 | |  | | 業 績分 担 |  | |
| 最 終 学 歴 | |  | | 学 位 | 博士 | |
| 勤 務 先 と 職 名 | |  | | | | |
| 同 所 在 地 | | 〒  ℡ | | | | |
| 題  目 | 和 文 | |  | | | | |
| 英 文 | |  | | | | |
| No. | | | | | | | | |
| 推薦者 | 氏 名 | |  | | | | |
| 勤 務 先 と 職 名 | |  | | | | |
| 同 所 在 地 | | 〒  ℡ | | | | |
| 推 薦 資 格 名 | |  | | | | |
| 候補者所属機関長の推薦承諾 | 所 属 機 関 の  名 称 と 代 表 者 | | 印 | | | | |
| 同 所 在 地 | | 〒  ℡ | | | | |
| 所 属 機 関 の 名 称 と 代 表 者 | | 印 | | | | |
| 同 所 在 地 | | 〒  ℡ | | | | |
| 所 属 機 関 の  名 称 と 代 表 者 | | 印 | | | | |
| 同 所 在 地 | | 〒  ℡ | | | | |
| 候補技術の受賞歴 |  | | | | | | |
| 候補者の受賞歴 |  | | | | | | |
| 本件の連絡先 | 氏 名 |  | | | | | |
| 勤 務 先 と 職 名 |  | | | | | |
| 同 所 在 地 | 〒  ℡ | | | | | |

No.

候補者調書

|  |
| --- |
| １．推 薦 の 理 由 1200字以内 |
|  |

No.

|  |
| --- |
| ２．技術開発の背景、動機、目的など 1200字以内 |
|  |

No.

|  |
| --- |
| 1. 技術内容の概要（原理、反応、構造、機能、システムなど）   必要ならば図、表、写真等を別に添付すること 3600字以内 |
|  |

No.

|  |
| --- |
|  |

No.

|  |
| --- |
|  |

No.

|  |
| --- |
| ４．技術開発の経過（時系列的に記述） 2400字以内 |
|  |

No.

|  |
| --- |
|  |

No.

|  |
| --- |
| ５．技術の特色、独創的な点、将来への影響など 2400字以内 |
|  |

No.

|  |
| --- |
|  |

No.

|  |
| --- |
| ６．生産実績（最近３年間の生産額、数量、金額、市場占有率など） 1200字以内 |
|  |

No.

|  |
| --- |
| ７．本技術と関連があると思われる他社（国内、国外）技術の概要、ならびに本技術との相違点 2400字以内 |
|  |

No.

|  |
| --- |
|  |

No.

|  |
| --- |
| ８．参考資料リスト（特許、学会論文、総説、解説、カタログ、製品見本など）  （このうちで最も主要と思われるもの１０点以内を選び、コピー３部を送付すること）  ３，４，５の項目のどの部分に関連するかを註記すること。 2400字以内 |
|  |

No.

|  |
| --- |
|  |